

児童生徒尿検査委託仕様書

発注者が受注者に委託する業務は、児童生徒の尿検査実施要領（第5条第2項を除く）に掲げる業務及び以下のとおりとする。

なお、尿検査実施要領第5条の検査方法及び判定基準は別紙1～3のとおりとする。

1 事前準備

（1）検査器材の配付

ア 一次尿器材の準備

一次尿器材は、一次尿袋、一次尿容器、尿（紙）コップ（採尿時の注意事項等の説明文も添付）を準備する。一次尿容器及び尿（紙）コップは学級ごとに配布できるよう40個ずつに分ける。

次年度の児童生徒予定数を元に学校毎の尿器材を用意し必要数（児童生徒予定数に1.15を乗じた数量以上）を梱包する。

学校に配付する器材は、尿容器、名簿用CD-R、尿検査対象者名簿(OCR用紙名簿)、回収用ビニール袋【小】（クラス用：透明ビニール袋）、回収用ビニール袋【大】（学校全体用：色付きビニール袋）とする。

ただし、発注者と協議し、受注者独自の提出フォームを用いることが認められた場合には、名簿用CD-R、尿検査対象者名簿(OCR用紙名簿)を不要とし、尿検査対象者名簿(OCR用紙名簿)と同項目を記載する尿検査対象者名簿様式データ(ExcelファイルまたはWordファイル)（以下、様式データという。）を作成し、様式データを提供することをもって、代えることができる。

なお、学校がCD-Rまたは様式データを受注者に提出する場合は、パスワードを設定したデータを送付する必要があるため、パスワードを用意し、送付時に学校へ通知すること。

また、尿検査の名簿作成について、学校へ説明を行うこと。

イ 検査器材の納品

令和8年2月17日（火）から令和8年3月5日（木）までに学校へ納品する。

（2）検体回収日の調整

各学校の検体回収日を4月から5月までに3回設け、一次検査・二次検査を行う。

1回目、2回目、3回目の検体回収日程案を作成し、発注者へ連絡する。学校から日程変更の希望があった場合は、発注者を通じて日程の調整を行う。

回収日の1週間前までに各学校（養護教諭宛）へ連絡し、回収日時、学年毎の学級数、対象人数を確認する。

2 検体の回収及び結果報告

(1) 1回目

ア 検体の回収

・一次検査検体

学校から検体及び名簿を回収する。(検体回収の際に、クラス毎に分けている袋の数をカウントし、学校の確認者にサインをもらい、学校及び受注者双方で保管できる書類を作成すること。なお、2回目、3回目も同様とする。)

※検体及び名簿等の運搬に際し、紛失防止策を講じること。

イ 結果報告

一次検査結果を、検体回収から10日以内に学校へ報告する。

糖(4+)の高度異常者が判明した場合は、至急発注者へ報告する。(電話で一報をし、後日、該当者の陽性者名簿及び一次検尿結果個人票を送付する。)

また、蛋白・潜血の高度異常のため至急で二次検査を必要とする場合は、発注者及び学校へ連絡し、対象者へ至急の二次検査を行うこと。

【報告様式】

(学校あて報告)

・一次検尿成績名簿(未提出者も含め尿検査対象者名簿通り出席番号順でクラス毎に作成)

・一次検尿未提出者名簿

・一次検尿結果個人票(個人情報保護の観点から、検査結果の部分は圧着シートで見えないようにする。)

・一次検尿陽性者名簿

・氏名未記入者一覧

ウ 二次検尿対象者への器材配付

蛋白・潜血が陽性の方へ二次検尿の実施を行うため、学校へ対象者の報告及び器材の配付を一次検査結果の報告と併せて行う。

【報告様式及び配付器材】

・二次検尿対象者名簿

・二次検尿用尿容器

・二次検尿用袋

・尿(紙)コップ ※採尿時の注意事項等の説明文も添付

※留意事項

検体提出者が下記の項目に該当していることが容器又は個人用配付袋で判別できるようにすること。

・生理中であること。

検体の提出に関して、学校へ説明をすること。

(2) 2回目

ア 検体の回収

- ・二次検査検体
- ・一次検査検体（１回目未提出者）

学校から検体及び二次検尿対象者名簿を回収する。

※検体及び名簿等の運搬に際し、紛失防止策を講じること。

イ 結果報告

検体回収終了後、速やかに一次検査結果を学校へ、二次検査結果を発注者へ報告する。
また、二次検査の未提出者がいる場合には、学年、組、氏名等を任意の様式で学校へ報告する。

蛋白、潜血及び糖（４＋）の高度異常者が判明した場合は、至急発注者へ報告する。
（電話で一報をし、後日、該当者の陽性者名簿及び一次（二次）検尿結果個人票を送付する。）

また、一次検査検体提出者で、蛋白・潜血の高度異常のため至急で二次検査を必要とする場合は、発注者及び学校へ連絡し、対象者へ至急の二次検査を行うこと。

【報告様式】

（一次検査結果：学校へ送付）

- ・一次検尿結果名簿
- ・一次検尿未提出者名簿
- ・一次検尿結果個人票（個人情報保護の観点から、検査結果の部分は圧着シートで見えないようにする。）
- ・一次検尿陽性者名簿
- ・氏名未記入者一覧

（二次検査結果：発注者へ送付）

- ・二次検尿成績表（学校用、発注者用、医師会学校医部会用）
- ・二次検尿結果個人票（個人情報保護の観点から、検査結果の部分は圧着シートで見えないようにする。）

※留意事項

二次検尿成績表はそれぞれ封筒に封入し、二次検尿結果個人票は学校用の封筒に入れること。

学校用の封筒に、発注者が指定する内容のラベルを貼ること。

（２回目の回収で尿検査が全て終了した場合【学校報告用】：発注者へ送付）

学校毎に下記書類を封筒に封入する。

- ・一次検尿成績名簿（全児童生徒分）
- ・尿検査結果統計表

※留意事項

封筒に、発注者が指定する内容のラベルを貼ること。

ウ 二次検尿対象者への器材配付

2回目回収時に提出した一次検査において、蛋白・潜血が陽性の方へ二次検尿の実施（3回目の回収）を行うため、学校へ対象者の報告及び器材の配付を一次検査結果の報告と併せて行う。

報告様式及び配付器材については、「第2項（1）ウ 二次検尿対象者への器材配付」のとおり。

※検体未提出者がいない場合かつ一次検査結果全員陰性の場合は、3回目の回収は不要とし、その旨を学校へ連絡する。

（3）3回目

ア 検体の回収

- ・二次検査検体（2回目に一次検査検体を提出した者のうち、要二次検査となった者）
- ・二次検査検体（2回目未提出者）
- ・一次検査検体（1回目及び2回目未提出者）

学校から検体及び二次検尿提出名簿を回収する。

※留意事項

3回目の検体回収時に提出された一次検査検体の中から要二次検査者が出た場合、二次検査の回収を行う義務はない。

イ 結果報告

一次検査結果及び二次検査結果を、検体回収後速やかに発注者へ報告する。

蛋白、潜血及び糖（4+）の高度異常者が判明した場合は、至急発注者へ報告する。

【報告様式】

（一次検査結果：発注者へ送付）

一次検査結果については、「第2項（1）イ 結果報告」のとおり

（二次検査結果：発注者へ送付）

二次検査結果については、「第2項（2）イ 結果報告（二次検査結果：発注者へ送付）」のとおり。

※留意事項

一次検査結果及び二次検査結果（学校用）はまとめて学校用の封筒に入れること。

学校用の封筒に、発注者が指定する内容のラベルを貼ること。

（尿検査の終了報告【学校報告用】：発注者へ送付）

尿検査が終了した際の学校への報告については、「第2項（2）イ（2回目の回収で尿検査が全て終了した場合【学校報告用】：発注者へ送付）」のとおり。

（4）業務完了報告

全ての尿検査が終了後、「尿検査結果一覧表（全市集計、各区集計、学校集計（区毎）に分けて作成）」及び「尿糖陽性者名簿」により全校の検査結果を発注者へ報告する。

3 協議

受注者独自の様式を使用したい場合は、事前に発注者と協議を行い、許可を得れば指定様式以外でも使用することができることとする。

また、本仕様書に記載されていないことで疑義が生じた場合には、すべて発注者と協議のうえ行うこと。

4 全体を通した留意事項

- （１） 学校宛及び発注者への配布物等に表題をつけることや、内容物や数量について明確にしておくこと。
- （２） 検査の実施期間に関しては令和８年４月から６月までとし、実施日程については、発注者で決定した実施日程で市立小中学校等を回り検査を完了させること。またその際、検体回収に際し、検査精度に影響を与えない、回収時間や方法をとること。
- （３） 業務開始前に発注者と業務内容等について確認及び調整すること。